

第 15 回マニフェスト大賞 応募

応募タイトル

コロナ禍でも情報共有をリアルタイムに！

「議員が考え、そして動く」、より実践的な議会 I C T 化を推進

取り組み概要

本市議会では、議員が主導する形で、スケジュールに沿って協議・検証を繰り返しながら段階的に I C T 化を進めることで、より実践的な議会 I C T 化を議会一体となって推進している。

去年のグループウェア導入後は、スケジュール管理や資料のペーパーレス化・アーカイブ化、災害時の安否確認等、電話・紙文書での調整や情報共有をグループウェアを中心とした運用に移行し、情報共有の迅速化や環境負荷軽減はもちろん、議員・事務局・執行部の事務負担軽減にも繋げている。

また、タブレット導入後は、執行部と連携しながら段階的にペーパーレス化を進め、一方で議員が講師となったタブレット操作研修を繰り返す等しながら、本年 6 月定例会にて議案書等の配付を完全ペーパーレス化した。

コロナ禍では、グループウェアを活用しリアルタイムの市の動きを共有するとともに、議員から担当部局への直接の問い合わせを禁止し、事務局を通じて一括管理する等、I C T の強みを活かした情報共有を実践した。

取り組みの特徴(特に力を入れた点、取り組みのポイント、成果、連携の実績)

■ グループウェアの活用によるスケジュール管理と紙資料のペーパーレス化

会議資料、開催通知、事務連絡、執行部側の連絡・報道資料はグループウェアに掲載、議会広報紙の原稿のやりとりもグループウェアを活用する等、ほぼすべての議会内の資料をペーパーレス化した。

■ グループウェア内での議会資料のアーカイブ化

グループウェア内のファイル管理機能で、議案書等の会議資料をアーカイブ化した。会議に特化したシステムは導入していないが、議案書等の電子ファイルは文字検索が可能な P D F ファイルとし、フリーソフト等を用いて、P D F ファイルに目次（しおり）を付ける等、必要な機能を備え運用している。

■ 執行部側も含め、議案書等の印刷製本を廃止

市長部局と議会が緻密に連携し、同時期にペーパーレス化を実施し、印刷製本していたすべての議案書等資料（予算書・決算書、外郭団体の事業報告等を含む）の配付を廃止した。これにより環境負荷軽減だけでなく、紙資料の検品等事務負担の大幅軽減に繋がった。（資料を印刷し会議に持ち込むことは排除せず、また傍聴用・保存用等一部は紙資料としている。）

■議員相互の指導によるタブレット操作技能の向上

タブレット導入にあたり、操作は議員相互で指導し合い、事務局職員はフォロー役としてその負担軽減に配慮することを議会内で決定した。そのため、操作研修は若手のＩＣＴ推進議員が講師となって定例会ごとに実施している。現在は議員のレベルごとの研修に移行し、より高度な操作を習得する研修も実施している。また、定期的に全議員揃って研修を実施することで、操作技術の向上だけでなく、議会としてどう活用するかの方針も共有できている。

■災害時の安否確認への活用

これまでの事務局からの一斉メールによる確認から、全議員が自発的に安否を知らせ、同時に状況を共有できるグループウェアのアンケート機能を活用した方法に変更し、訓練等も実施している。

■コロナ禍におけるリアルタイムでの情報共有

コロナ禍においては、市の広報担当部局やコロナウイルス感染症関連部局と連携し、市のリアルタイムでの対応やホームページ更新情報をすべてグループウェアで共有した。また、関連部局の取り組みを優先させるため、コロナウイルス感染症に関わる問い合わせはグループウェアを通じて議会事務局が一括管理し、関連部局とのやりとりを共有することとし、議員から直接の問い合わせは一切禁止した。

■課題及び今後の方向性

本市議会の議会ＩＣＴ化は、議案書等のペーパーレス化で一定の成果を得たが、タブレットを活用しての質疑等が一部議員に限られること、災害対応への活用スキームの作成、コロナ禍におけるオンライン議会への対応等課題も多く、逆にまだまだやるべきこと、活用できる可能性を大いに秘めているものとする。

以上